

『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現に向けて下記3点について質問します。

▼【1】佐渡市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略について

【1-1】限界集落の保全施策について

- └ 佐渡島内の集落数と限界集落数
- └ 空き家・古民家・能舞台の数と状態
- └ 空き家対策
- └ 集落ツーリズムによる観光振興
- └ 1社1村運動導入による農林水産業振興
- └ 高齢化集落等への労力支援事業等の集落保全施策の今後
- └ 買物弱者対策
- └ 有人国境離島特措法の活用
- └ 佐渡版 DMO の創設進捗状況

【2-1】健康寿命の伸長施策について

- └ さどひまわりネットの利活用
- └ エクサドン、エクサ井施策
- └ 徳島県上勝町彩モデルの導入可能性

【3-1】インターネットの利活用施策について

- └ 島内の光環境及び Wi-Fi の整備状況
- └ 情報発信施策
- └ RESAS 利活用状況

▼【2】学校の教育環境について

【2-1】教育特区の申請可能性について

- └ 基礎学力と伝統芸能の両立
- └ 小中一貫・中高一貫教育
- └ 複式学級
- └ 集落内学童
- └ コミュニティスクール

【2-2】小中高校の統廃合計画について

- └ 原則統廃合停止＝現状維持とする可能性
- └ 地域の学校
- └ 生涯学習の実施

▼【3】地域防災と災害等有事の対応について

【3-1】東日本大震災クラスの地震が起こった際の対応について

- └ ハザードマップ整備及び周知状況
- └ 水・食料・被災時備品の備蓄状況
- └ 集落内防災対策状況
- └ 津波避難タワー計画

【3-2】スポーツイベントの危機管理について

- └ トキマラソン途中中止の詳細と大会ガイドライン
- └ 有事の際のシミュレーションとしてのスポーツイベント利活用

皆さん、こんにちは。三度のメシより佐渡が好き!!! 室岡啓史でございます。政風会幹事長として、通告に従い、一般質問をさせていただきます。産業建設常任委員会副委員長として、『建設』的な一般質問をさせていただきます。

この度、中川隆一議員、北啓議員と新会派をつくりました、政風会。①佐渡市議会に風穴を開け、佐渡市民にとって風通しの良い議会をつくる。②佐渡全島に元気の風を吹かす。③政風会は安全安心の無農薬野菜のような優良会派でありたい。『安全』は英語で Safe (セイフ)。その三つの意味を込めて、『政風会』と名づけました。

私は、政治というものは理想(=明確なグランドデザイン)を思い描き、現実をその理想に少しでも近づけていくことと考えます。だからこそ形にしていかなければならない。そして、政治家には二つの仕事がある。①人と人とをつなげていくこと。②化学反応の触媒となり、物事が進むスピード、問題解決のスピードを向上させるということです。私は、その二つの仕事に邁進したいと思います。

~~~~~  
触媒(しょくばい)とは、特定の化学反応の反応速度を速める物質で、自身は反応の前後で変化しないものをいう。今日では反応の種類に応じて多くの種類の触媒が開発されている。特に化学工業や有機化学では欠くことができない。また、生物にとっては酵素が重要な触媒としてはたらいている。  
~~~~~

私は、佐渡の①農山漁村集落を巡りながら余暇を過ごす滞在型観光、そして②農山漁村集落の生業を大切に守り育て、生き生きと暮らせる地域づくりの仕組みとして、『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現を目指して参ります。集落のチカラは佐渡のチカラです。サービス開始は数年以内にできるとしても完成するのに 50 年はかかると見込んでいる壮大な構想です。

私は、『なんでも賛成団』でも『なんでも反対団』でもない、『なんでも提案団』として、この 4 年間でその仕組みづくりに奔走させていただきます。ご協力の程よろしく願いいたします。

私の両親は両津出身ですが、私自身は新潟市で生まれ育ち、学生時代から約 10 年間首都圏で生活して参りました。学生時代、建築学を専攻しておりまして、今からちょうど 10 年前、大学院時代に佐渡を研究いたしました。ライフスタイルの研究です。(論文の要旨を配布させていただいておりますので、後程是非ともご一読ください。) 当時、46 名の方にインタビューさせていただきました。お世話になった皆様に恩返しをしたく、今私はここにおります。その調査のプロセスの中で、私自身が集落ツーリズムを体験させていただき、佐渡の農山漁村の『集落多様性』の素晴らしさを感じました。世界中探してもこんな場所は佐渡しかないだろう、そう思いました。

佐渡には 300 有余の個性豊かな農山漁村が今もなお息づいています。佐渡の「集落多様性」を世界に誇るために「集落ツーリズム」構想を実現したい。佐渡の集落を電気自動車で巡り、地元の人との対話や集落の魅力を「マチあるき」「ムラあるき」として楽しむ新しい滞在型観

光。そのために佐渡全島の集落情報を収集し、多言語対応の WEB サイトとして世界中に公開することで、日本全国、世界からもお客様をお招きし、交流人口を増やしたい。佐渡の集落の守り人「佐渡人」を育成することで集落を守り育て、次の世代へのバトンをつないでいく。そして一次産業を中心とする生業を大切にする。また、佐渡に残る古民家や能舞台、寺社仏閣は本当に素晴らしいのに、このままでは朽ちて、消え果てる運命にあります。しかし今ならまだ間にあう。そう確信しています。

まずは、いの一番、佐渡の玄関口、両津のマチを元気するべきだと考えます。両津が何故、両津というか。両は2つ、津は船着き場という意味です。つまり両津夷、両津湊この2つのマチが両津の地名の由来です。玄関は人に例えれば顔ですから、今の状況からお色直しが必要です。そこで、『お色直しプロジェクト』をやりましょう。両津夷は商人のマチ。両津湊は職人のマチ。佐渡アイランド集落ツーリズムのメインとなる出発地であり到着地でもある両津。そんな場所が、この数年で衰退が目に見えて加速している、私はそう実感しております。両津夷と両津湊、両津のマチが元気になる。この二つのエンジンが元気になれば、佐渡全島の集落へと元気の風が吹いていく。そういうストーリーです。また、佐渡金銀山の世界遺産登録に向けても、お客様をお迎えする上で、玄関口の整備は至急の課題と言えます。

約10年間、民間企業で修業し、3年前に念願かない、今はやりの孫ターンで佐渡に帰って参りました。民間感覚、外の目の感覚、首都圏および新潟でのつながりを大切にして、佐渡市議会議員として、佐渡⇄越後⇄江戸をもう一度つなげて参ります。

それでは、提案や事例を交えながら、一般質問をさせていただきます。

『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』の実現に向けて3点質問します。

- ▼【1】佐渡市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略について
- ▼【2】学校の教育環境について
- ▼【3】地域防災と災害等有事の対応について

~~~~~  
▼【1】佐渡市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略について

佐渡市としての明確なグランドデザインを示していただきたい。今のままではグランドデザインは見えてきません。『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』を佐渡市としても実現するべく、是非とも一緒にがんばりましょう。

このままでは佐渡の集落は消滅し、国仲の町中にのみ人が住む島になってしまいます。そうなれば、全国の島でも類まれな佐渡がもつ集落多様性は保つことができず、そのため、佐渡観光の本当の魅力は半減してしまいます。そうなれば経済的にも急激に衰退し、さらなる人口減少へと負のスパイラルに陥ってしまいます。

つまり佐渡市として、島の中の一部に人が集まるコンパクトシティ路線ではダメなのです。なんとしても正のスパイラルへとすべきなのです。財政破たんした夕張市は、コンパクトシティ化が進んでおりますが、佐渡ではやるべきでないと考えます。

また、移住者支援施策の充実により、佐渡の人口を減らさない努力が必要だと考えます。『衣食住』は、生活をしていく基礎ですが、それに加え『医職充』が必要ではないでしょうか。医は地域医療、職は一次産業を中心とする仕事です。充は、サービスが十分に満ち足りている状態です。そこで、『生業ハローワーク』をつくりましょう。現行の『ハローワーク』の中に設け、一次産業を次の世代に引き継げるよう、農林水産業の生業に特化した雇用を増やしていくのです。移住者の職・住を用意する仕組みづくりが必要です。

#### 【1-1】限界集落の保全施策について

##### └ 佐渡島内の集落数と限界集落数

現在の状況について教えてください。

##### └ 空き家・古民家・能舞台の数と状態

現在の状況について教えてください。

##### └ 空き家対策

農山漁村民泊を推進するべきだと考えます。住居、レンタルオフィス、シェアハウス、レストラン等、有効に活用する施策は検討しているか教えてください。

##### └ 集落ツーリズムによる観光振興

『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』は、集落の生業を守り育て、滞在型観光による交流人口増大によって、産業振興・観光振興を目指す取り組みです。集落をツーリズムする切り口は、たくさんあります。自然、ジオパーク、八十八カ寺、能舞台、伝統芸能、伝統文化、伝統食、農山漁村の建築、民話、スポーツイベントなど。見たり聞いたり触ったり感じたりすることこそ佐渡の魅力の神髄を味わう素晴らしい機会になると思います。

#### Sight Seeing から Life Seeing へのシフト

これは、物見遊山の名所を巡る観光から、人にあう、生き方を体験する滞在型観光へシフトです。

##### └ 1社1村運動導入による農林水産業振興

一社一村運動とは、企業や大学等の団体と農山漁村が協働活動することで農山漁村地域の活性化を図る運動です。2004年に韓国で始まったこの取り組み、日本では秋田、静岡、島根などで既に展開され、静岡では「一社一村しずおか運動」の認定事例は、県内29地区で38組となっています。(2005年から2013年2月23日まで)  
佐渡市としていかががお考えでしょうか。

国や県から予算を持ってくる、佐渡市の予算を確保することもさることながら、島内外の企業に協力を要請することも大変重要なことと考えております。具体的には、新潟県内や首都圏企業との地域活性化包括連携協定を締結するということです。韓国の1社1村運動のように、佐渡でもやりましょう。民間企業の協力を得るには、集落と企業のWIN×WINの関係が必要不可欠です。集落は元気になり、企業は社会的貢献を果たす。そのためにはベストマッチングの仕組みづくりが必要です。

佐渡の 300 有余の集落と、佐渡島内はもとより、江戸や越後の 300 有余の企業が連携することで、佐渡の明るい未来がつくられ、未来永劫守っていける。その仕組みが実現できると確信しております。

### └高齢化集落等への労力支援事業等の集落保全施策の今後

集落に予算と元気にする人材が必要です。予算は建設課の「高齢化集落等への労力支援事業等の集落保全施策」に年間 5000 万円の予算がついています。集落の方には大変喜ばれている素晴らしい施策の一つです。この施策を 1 億円規模まで増額できないでしょうか。佐渡市として予算を確保しながらも、民間企業に協力を仰ぐ、大学や民間企業との包括連携協定を結んでいくということが必要だと考えます。来年度予算についてお尋ねいたします。

### └買物弱者対策

買い物難民は全国に 600 万人おります。佐渡市ではどのくらいの方が該当でしょうか。徳島県で始まった、とくしまるというサービスをご存知でしょうか。地元スーパーと事業主が連携して行う移動販売の仕組みです。佐渡でも移動販売の仕組みを導入する必要があると考えます。いかがお考えでしょうか。

### └有人国境離島特措法の活用

特措法の活用により、空港・漁港・港湾・トンネル・道路等の整備、佐渡汽船運賃の低廉化といったことが実現する可能性があります。特措法の『地域社会の維持』という主旨を集落にこそ活用することができないでしょうか。

#### 有人国境離島特措法の議案要旨

(内閣委員会)

有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法案(衆第一八号)(衆議院提出)要旨

本法律案の主な内容は次のとおりである。

一、この法律は、我が国の領海、排他的経済水域等を適切に管理する必要性が増大していることに鑑み、有人国境離島地域が有する我が国の領海、排他的経済水域等の保全等に関する活動の拠点としての機能を維持するため、有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別の措置を講じ、もって我が国の領海、排他的経済水域等の保全等に寄与することを目的とする。

二、この法律において「有人国境離島地域」とは、自然的経済的社会的観点から一体をなすと認められ、領海基線を有する離島を含む二以上の離島で構成される地域内の現に日本国民が居住する離島で構成される地域のほか、領海基線を有する離島であって現に日本国民が居住するものの地域をいう。

三、この法律において「特定有人国境離島地域」とは、有人国境離島地域のうち、継続的な居住が可能となる環境の整備を図ることがその地域社会を維持する上で特に必要と認められるものをいう。

四、国は、有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持のため必要な施策を策定し、及び実施する責務を有する。

五、内閣総理大臣は、有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する基本的な方針(以下「基本方針」という。)を定めるものとする。

六、国は、有人国境離島地域に国の行政機関の施設を設置するよう努めるものとするほか、有人国境離島地域内の所定の土地について買取りその他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

七、特定有人国境離島地域をその区域に含む都道府県は、基本方針に基づき、当該特定有人国境離島地域について、その地域社会の維持に関する計画(以下「計画」という。)を定めるよう努めるものとする。

八、国は、毎年度、予算で定めるところにより、計画の円滑な実施その他の特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する施策の実施に必要な財政上の措置その他の措置を講ずるものとする。

九、国及び地方公共団体は、国内一般旅客定期航路事業等に係る旅客の運賃及び料金の低廉化について特別の配慮をするほか、住民の雇用機会の拡充を図るため、事業に係る一定の費用の負担の軽減について適切な配慮をする等、特定有人国境離島地域に係る施策を講ずるものとする。

十、この法律は、一部を除き、平成二十九年四月一日から施行し、平成三十九年三月三十一日限り、その効力を失う。

### └ 佐渡版 DMO の創設進捗状況

佐渡版 DMO の創設進捗状況について教えてください。海外インバウンドの受け入れ、滞在型観光については、バカンス特に欧米の富裕層が重要なターゲットとなると考えます。マチづくり、ムラづくりにはハード面の整備とソフト面の整備両面が必要だと考えますが、観光 DMO はその核となる大切な存在だと思います。

佐渡においても『さどんぼ』や『あるかんか』といったマチ歩き、ムラ歩きのサービスも始まりつつあります。マチ歩きムラ歩きを実践している団体の協力は不可欠であると私は考えます。何故ならば滞在型観光によって今後の佐渡があると確信しているからです。佐渡の集落は世界の宝です。

様々な専門性を持った方々の参画が必須と考えますが、こういった状況でしょうか。

### 【2-1】健康寿命の伸長施策について

#### └ さどひまわりネットの利活用

##### ▼ さどひまわりネットとは・・・

佐渡島内の病院・医科診療所・歯科診療所・調剤薬局・介護福祉施設をネットワークで結び、患者さんの情報を互いに共有することで、受けている治療内容、飲んでいるお薬を把握し、安全な医療・介護を提供し、状態に合わせて利便性の高い施設で医療・介護を受けることができる環境をめざすものです。

※患者さんの情報を共有するにはご本人の同意が必要です。

<http://www.sadohimawari.net/>

このシステムは、佐藤賢治佐渡総合病院長が構想されたそうです。

~~~~~

【事実と考察】

・医療、介護分野でも情報を共有できるこのシステムは画期的で全国的にも類を見ない、先進事例だそうです。

・登録者数は佐渡市民 15,003 人。(2016/6/15 現在)

・参加施設数は佐渡市内 75 施設。

- ・患者さんがどのような治療を受け、どのような薬を処方されているか、バイタル（脈拍あるいは心拍数・呼吸(数)・血圧・体温）がどうなっているか、といったことが瞬時にわかる。
- ・個人情報のため、取り扱い要注意のシステムである。

↓

- ・佐渡市民の限りなく全員が登録することで、佐渡島内の健康状況をより正確に分析・予測することができる。
- ・健康寿命を伸ばすことは、医療の需要過多の現状においては打開策になると考えるが、ビッグデータから佐渡市民の世代・性別毎にどのような健康づくりが最適か分かるようになると推測できる。
- ・どの医療分野に予算を割いていくべきなのかの指標となる。
- ・高齢化先進地の佐渡での分析・実践が他地域への道しるべとなる。

~~~~~

登録者数は佐渡市民 15,003 人⇒佐渡市民の 1/4 が登録済み (2016/6/15 現在)。ひまわりネットの個人情報を除いたビッグデータを活用し、佐渡市民の健康状態、疾患等について分析・定量化することで、健康寿命を伸ばす取り組みを施策化することができると考えます。地域医療の充実と健康寿命を伸ばすことは佐渡において必須の対策だと考えますが、いかがでしょうか。

#### └エクサドン、エクサ井施策

佐渡は、認知症患者の方が約 3000 人、認知症予備軍の方が約 3000 人、合わせて約 6000 人という状況です。太鼓をエクササイズとしてたたく、認知症予防のための食事を井ぶりにして食べる。健康寿命を伸ばすべく、攻めの施策として素晴らしい取り組みだと思います。今後の展開について教えてください。

#### └徳島県上勝町彩モデルの導入可能性

徳島県上勝町の葉っぱビジネスの彩モデルは、地元のおじいさんおばあさんが中心に地域の葉っぱを収穫し、高級料亭の季節のつまモノとして出荷するサービスです。そのおかげで、医療費が徳島県内で最高であったのが、最低までになった素晴らしい事例です。仕事が忙しくて病院に行っている暇がなくなったというのです。健康寿命を伸ばすためにも、佐渡でも彩モデルの導入が必要だと考えます。高齢者の方にもより一層、一次産業をサポートしていただきたいと思いますが、いかがお考えでしょうか。

### 【3-1】インターネットの利活用施策について

#### └島内の光環境及び Wi-Fi の整備状況

佐渡市のインターネット環境、光回線の普及状況について教えてください。

IT 業界では、アプリやサイト、システム等をつくるために合宿するという文化があります。温泉施設等に滞在しながら、快適な環境でクリエイティブに過ごすということです。そのために、高速インターネットの整備は必要不可欠なのです。整備をすれば、合宿誘致も可能だと考えます。そうなれば、佐渡産のアプリができることとなります。アプリの一つがブレイクすれば、佐渡がアプリ開発の地として聖地化されることもあり得る訳です。そうなれば正のスパイラルが生まれます。

また、Wi-Fi 環境（無線 LAN）の整備が至急の課題と考えます。若者や外国人観光客にとって、今や Wi-Fi 環境は、水や空気と同じくらい大切な生活インフラだと感じております。Wi-Fi 環境の整備状況についてお教えてください。

## └RESAS 利活用状況

RESAS（リーサス）とは、「ヒト・モノ・カネ」の流れをわかりやすくデータ化した仕組みです。

<https://resas.go.jp>

先月、あいぼーと佐渡にて開催された RESAS フォーラムでは、佐渡高校、佐渡総合高校の生徒さんによる RESAS を活用した政策発表がありました。六次産業化の推進や U ターンの促進といったアイデアがデータによって裏付けられた素晴らしいものでした。また、内閣府大臣官房総務課の早田豪企画官によるレクチャーも外の目から見た佐渡をデータを活用しながらご説明いただきました。

佐渡の改善点、これからの展望がデータによって見えてくる。そしてそれには『佐渡を元気にしたい』という情念がないとその活用はできない。そのことを学びました。佐渡市として RESAS を施策にどのように生かしていくか教えてください。

~~~~~  
RESAS トップページ→地域経済循環マップ→地域経済循環図→市町村単位で検索する→新潟県佐渡市

▼佐渡市の総生産は年額 1,888 億円（2010 年）

⇒佐渡市としては年額 2,000 億円を目指しているが、島外へ 206 億円が流出している財・サービスをまずは島内でできるようにすることが先決。島の中でお金がまわれば総額を増やすことにこだわる必要はない。

▼すべてを地産地消と意気込むのではなく、島外から移入した方がよいものはそうする。そしてリンゴジュース等、佐渡の島内で生産でき得るものは佐渡で生産すべき。

⇒島の中にお金が残る、島の中でお金がまわる。

▼超異文化圏である欧米の富裕層を佐渡にお招きし、能・鬼太鼓・農林水産業の体験をしてもらうべき。

⇒アース・セレブレーションや世界遺産登録がフックとなる。

欧米の富裕層がくれば他地域の富裕層の方もくる。そして国内からのお客様もくる。そして、生業の産業振興、滞在型の観光振興を推進するべく『佐渡アイランド集落ツーリズム構想』を実現させるためにも、RESAS のデータが活用できると確信しました。

~~~~~



## ▼【2】学校の教育環境について

文科省の学校統合の手引きにより、統合できない地域においては、特色ある学校づくり（特色あるカリキュラム、小規模学校のメリット等）を活用すべきだという指針を出したとのことですが、佐渡市の取り組みとして、教育のビジョンをお教えてください。

教育は、佐渡の明るい未来をつくるために重要な取り組みだと位置づけます。基礎学力の向上と伝統芸能の継承という文武両道を極め、佐渡のスーパー小中高生を育成するべきではないでしょうか。また、学校は子どもにとっても地域にとっても重要な存在だと考えます。コミュニティ・スクールの方針も全国的に進んでおります。佐渡市においてのコミュニティ・スクール化への進捗状況をお教えてください。

~~~~~  
近年では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(地教行法)の改正によって、2004年9月に導入された学校運営協議会(保護者や地域住民が学校運営に参加するための組織)によって運営される公立学校がコミュニティ・スクールと通称されている。

コミュニティ・スクール導入等促進事業（補助事業）＜補助率：国1／3※1＞
指定状況等

○平成26年4月時点で全国1,919校が指定

《目標》コミュニティ・スクールを全公立小中学校の1割（約3,000校）に拡大

※教育振興基本計画（平成25年6月14日閣議決定）

新潟県の指定校の割合は、10%～20%と全国的にみても比較的高い水準にあるようです。

~~~~~  
開かれた学校の教育特区として例えば『集落のみんなの学校』というものができないでしょうか。平日は子どもと先生と地域の人のための学校であり、土日祝日は観光のお客様と地域の人のための学校である。また、地元の方の協力を得ながら、学校の教室で放課後子ども教室を実施する。これらの取り組みにより、基礎学力の向上と伝統芸能の継承を実現させ、しかも教育費は無償化する。財源は現行の予算のみならず、企業版ふるさと納税を活用するというものです。

### 【2-1】教育特区の申請可能性について

└基礎学力と伝統芸能の両立

└小中一貫・中高一貫教育

└複式学級

└集落内学童

└コミュニティスクール

### 【2-2】小中高校の統廃合計画について

└原則統廃合停止＝現状維持とする可能性

└地域の学校

└生涯学習の実施

▼【3】地域防災と災害等有事の対応について

震災含めて有事の際の危機管理のシミュレーションは必要不可欠だと考えております。飲料水、食料、毛布、段ボールベッド等を備蓄購入しておき、震災のみならずイベントの有事の際にも柔軟に活用する。佐渡は素晴らしいことにいくつものスポーツイベントが年間を通して開催されますので、そういった対応も必要だと考えます。また、震災に備えて作成されたハザードマップの周知徹底をすることが必要と考えます。なお、両津夷・両津湊に津波避難タワー計画があったかと思いますが、状況についてお教えてください。

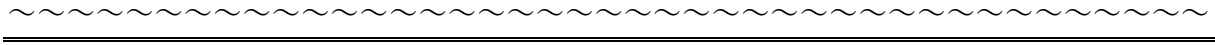
【3-1】東日本大震災クラスの地震が起こった際の対応について

- └ハザードマップ整備及び周知状況
- └水・食料・被災時備品の備蓄状況
- └集落内防災対策状況
- └津波避難タワー計画

【3-2】スポーツイベントの危機管理について

- └トキマラソン途中中止の詳細と大会ガイドライン
- └有事の際のシミュレーションとしてのスポーツイベント利活用

以上で、グランドデザインの説明と1回目の質問を終了します。



~~~~~  
※2 回目の質問は、1 回目の質問についての答弁の内容を掘り下げて再度質問。
教育、防災について⇒時間により次回の一般質問へ回す可能性あり。

【キーワード】

▼佐渡クイズ

イメージの共有、好奇心の大切さ、政治⇔集落、三度のメシより佐渡が好き!!!

▼論文要旨

全島をくまなく流れる川、住宅地図を見ていて飽きないという魅力、佐渡寿司の説明

▼マチ歩き、ムラ歩き

真野新町、岩首マップ

▼東京出張

先月 5 月に 10 日間程、関東出張に行って参りました。10 年来の友人、知人、企業の方へご挨拶に伺って参りました。そこではたくさんのつながりが、また生まれました。

ふるさと情報館という地方の不動産を扱う企業があります。都会から地方へ移り住む人たちへ地方の空き家、遊休土地を都会の人へ紹介して、田舎暮らしを進めている会社さんです。地方の提携先として、地方自治体、農協、民間の不動産、建築業者とも提携しております。会長の佐藤様には、7 月に来佐渡していただける予定です。

日本民家再生協会という民家を保全する活動をおこなっている NPO があります。民家フォーラムを毎年開催しており、最短で再来年、佐渡で開催できるよう進めて参ります。島内外の方に、佐渡の古民家の多様性、古民家のもつ空間の力をご理解いただく絶好の機会として参ります。佐渡市としてもご協力をお願いいたします。フォーラム翌日には、エクスカッションを実施したく、佐渡の集落ツーリズムを実施できる最良の機会となると思います。一例ですが、先般、真野新町を地元の方や大学の先生とマチ歩きをして参りました。3 間ほどの間口からは想像もできない、奥に広がる庭園や、複数の蔵には、永きにわたる時間や本物の素材から醸し出される、素晴らしい空間の力を感じ取ることができました。そういった佐渡の宝を島内外の方に見ていただきたいと思います。古民家を利活用する空き家バンク事業について、さらなる充実が必要と考えます。

また、大学の同期 2 人が女性建築家ユニットとして設計事務所を独立開業 5 年目、東京で運営しております。先日来佐渡してくれまして、佐渡の集落ツーリズムを案内し、古民家や能舞台の状況等を見て回りました。素晴らしい佐渡の宝をどう生かすことができるかのリサーチです。今後につなげて参りたいと思います。女子旅という観点でも佐渡を楽しんでもらいました。

▼一社一村運動

▼金の道

▼民泊

▼スーパーコミュニティスクール＝集落のみんなの学校

両津吉井小学校モデル

放課後子ども教室

環境教育⇒地球の守り人、森は海の恋人

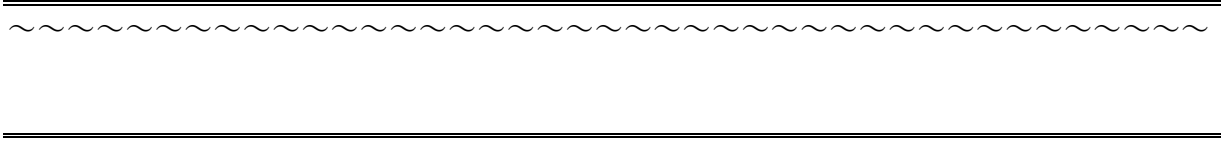
自由な教育プログラム

基礎学力の向上と伝統芸能の継承の両立

民間企業人の教師としての登用

▼特措法

地域社会の維持



~~~~~  
色々のご答弁をいただきましてありがとうございました。  
最後に私事を含めて、6分で提言いたします。

この選挙期間、私のつむじは加速度的に薄くなり、選挙直後には35歳のそれとは思えない状況でした。サドテレビさんの『佐渡これからTV』にて新人議員で語る会が放映されました。私のつむじ越しのアングルは私にとっては見るに堪えない画でございました。つむじからは全然新人らしさがなかったからです。むしろ、つむじからはベテランの風格が漂っておりました。そこで一念発起し、少し高かったですが、スカルプケアシャンプーを購入し、その使用を開始しました。また、たゆまぬ頭皮マッサージも開始しました。その結果、まだ短いですが、しっかりと毛がまた生えて参りました。ありがとうございます。確かに、選挙のストレスで一種の脱毛症となっていた状態が、ストレスから解放されたことも要因かもしれません。しかし、この二つの取り組みによって私の頭皮は再生された訳でございます。ハタと思いました。これは佐渡の集落においても同じことが言えるのではないかと。高価なシャンプーとマッサージ。これはつまり、集落にそれなりのお金を提供すること、そして集落をもみほぐすたゆまぬ努力をするということです。①国、新潟県、佐渡市の予算や先ほどの企業の資金支援、個人や企業のふるさと納税、クラウドファンディングといった善意のお金を集め、集落で活用すること。そして、②集落の地元の方、UI ターンの方、島内の行政・民間の方、小中高・専門学校生、地域おこし協力隊、また島外の佐渡が好きな方々、大学生といった人材の力を活用し集落をもみほぐしていく。この二つのことが大切なのだと気づいたのです。私は、二つの意味で、頭を使っています。1/22の存在である一市議会議員ですら、いつも佐渡の集落のことを考えているのです。いわんや、佐渡市長おやです。是非ともよろしく願いいたします。市長としても佐渡の集落のことを今よりももっと考えていただけますでしょうか。

最後に佐渡市政についてご提言いたします。スポーツの専門家である三浦市長には釈迦に説法ですが、横綱の土俵入りには雲竜型（うんりゅうがた）と不知火型（しらぬいがた）とがあります。雲竜型は、せり上がりの時、左手を胸の近くに当てて右手は伸ばす型の土俵入りです。攻めと守りを表現している型です。一方、不知火型は、せり上がりの時、両手を伸ばす型の土俵入りです。両方攻めという型です。

今の佐渡市執行部は、市内での不祥事が相次ぎ、議会対策に追われ、両手が守りの状況だと言えるのではないのでしょうか。そんな土俵入りの型は存在しないのです。確かに一朝一夕には解決しない問題もあり、今は十分な精査が必要な時期だとは思いますが。しかしながら中長期的には、雲竜型の攻めと守りの施策を打つ佐渡市政を作っていくべきだと私は考えます。市長としていかがお考えでしょうか。

また、佐渡市議会議員の皆さんにも『なんでも提案団』としてご提案いたします。一般質問においてもこの雲竜型を目指すべきではないのでしょうか。両手で攻めに攻める不知火型の一般質問では佐渡市執行部は、そっぽを向いてしまいます。それでは不知火型ではなく、『知らない型』になってしまう。これでは面と向かったやりとりができず、誰も得しない議会となるのではないのでしょうか。攻めと守りの雲竜型の一般質問。右手で改善点は指摘しながらも、左手では対案を抱え、提示する、そして佐渡市政の軌道を整えていく、それこそが現代の議員に求められている職能なのではないのでしょうか。議長としていかがお考えでしょうか。

幸いなことに全国棚田サミットも7月14日、15日と佐渡開催が実現します。全国から、農業関係者、棚田を保全する活動を行っている方々がご来訪されます。そういった方々へ素晴らしい佐渡の魅力をPRする絶好の機会の一つとなることは間違いございません。今後も佐渡市には全国規模のイベント誘致・開催をしていただきたいと思います。

そしてRESAS（地域経済分析システム）の活用、さどひまわりネットの活用、日本の先進事例となるべく、この二つを活用して参りましょう。ここ数か月で、佐渡に日本の先進事例となるべく『風』が吹いてきていると私は感じております。佐渡おけさの歌詞のとおり、佐渡へと草木もなびいてきております。本日の話題は、風に始まり風に終わります。市長はその風をしっかりと感じておりますでしょうか。

ところが、佐渡において〇〇問題という風に何事も「問題化」し過ぎる風潮が強いように思います。いける！というプラスの確信をまずは持つことが必要だと考えます。そして、佐渡市民の皆さん、佐渡市議会、佐渡市長、佐渡市執行部が、大野亀のような日本最大級の一枚岩となって、皆さんで佐渡の明るい未来をつくって参りましょう。是非とも『佐渡アイランド集落ツーリズム』を一緒にやりましょう。これで私の一般質問を終わります。お時間ありがとうございました。

---